

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】令和4年10月19日(2022.10.19)

【国際公開番号】WO2020/074535
 【公表番号】特表2022-503774(P2022-503774A)
 【公表日】令和4年1月12日(2022.1.12)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-004
 【出願番号】特願2021-516366(P2021-516366)
 【国際特許分類】

10

A 2 4 B 1 5 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

A 2 4 D 1 / 2 0 (2 0 2 0 . 0 1)

【 F I 】

A 2 4 B 1 5 / 1 4

A 2 4 D 1 / 2 0

【手続補正書】
 【提出日】令和4年10月7日(2022.10.7)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更

20

【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

エアロゾル発生基体を備える加熱式エアロゾル発生物品であって、前記エアロゾル発生基体が、粒子状植物材料で形成された均質化した植物材料を備え、前記粒子状植物材料が、前記粒子状植物材料の乾燥重量に基づいて、10重量パーセント～40重量パーセントのクローブ粒子、および60重量パーセント～90重量パーセントのたばこ粒子を含み、前記均質化した植物材料が、エアロゾル形成体と結合剤をさらに含む、加熱式エアロゾル発生物品。

30

【請求項2】

前記粒子状植物材料が、20ミクロン以上のD90値～300ミクロン以下のD90値を有する、請求項1に記載の加熱式エアロゾル発生物品。

【請求項3】

前記均質化した植物材料が、結合剤によって凝集された粒子状植物材料を含む、請求項1または2のいずれかに記載の加熱式エアロゾル発生物品。

【請求項4】

前記エアロゾル発生基体が、均質化した植物材料の一つ以上のシート、複数のストランド、または複数の断片を含む、請求項1～3のいずれかに記載の加熱式エアロゾル発生物品。

40

【請求項5】

前記エアロゾル発生基体が、一つ以上のシートを含み、前記一つ以上のシートが各々個別に、

100 μm ～600 μm の厚さ、または、

約100 g/m^2 ～約300 g/m^2 の坪量、のうちの一つ以上を含む、請求項4に記載の加熱式エアロゾル発生物品。

【請求項6】

前記エアロゾル発生基体が、一つ以上のシートを含み、前記一つ以上のシートが各々個別に、

50

50 N/m ~ 400 N/mの交差方向のピークにおける引張強さ、
または100 N/m ~ 800 N/mの機械方向のピークにおける引張強さ、のうちの
一つ以上を含む、請求項4または5に記載の加熱式エアロゾル発生物品。

【請求項7】

前記均質化した植物材料が、第一の均質化した植物材料および第二の均質化した植物材
料を含み、

前記第一の均質化した植物材料が、第一の粒子植物材料から形成され、前記第一の粒子
植物材料が、前記第一の粒子植物材料の乾燥重量に基づいて、少なくとも50重量パー
セント~100重量パーセントのクローブ粒子を含み、

前記第二の均質化した植物材料が、第二の粒子植物材料から形成され、前記第二の粒子
植物材料が、前記第二の粒子植物材料の乾燥重量に基づいて、少なくとも50重量パー
セント~100重量パーセントのたばこ粒子を含む、請求項1~6のいずれか一項に記載の
加熱式エアロゾル発生物品。

10

【請求項8】

前記第一の均質化した植物材料が、一つ以上のシートの形態であり、前記第二の均質化
した植物材料が、一つ以上のシートの形態である、請求項7に記載の加熱式エアロゾル
発生物品。

【請求項9】

第一のプラグおよび第二のプラグをさらに備え、前記第一の均質化した植物材料が前記
第一のプラグ内に位置し、前記第二の均質化した植物材料が前記第二のプラグ内に位置す
る、請求項7または8に記載の加熱式エアロゾル発生物品。

20

【請求項10】

前記第一の均質化した植物材料が第一のシートの形態であり、前記第二の均質化した植
物材料が第二のシートの形態であり、前記第二のシートが少なくとも部分的に前記第一の
シートの上にある、請求項7に記載の加熱式エアロゾル発生物品。

【請求項11】

前記第二の均質化した植物材料の前記第二のシートが、前記第一の均質化した植物材
料の前記第一のシートの上であり、前記組み合わせられたシートが、集合してエアロゾル
発生基体のプラグを形成する、請求項10に記載の加熱式エアロゾル発生物品。

【請求項12】

エアロゾル修飾要素をさらに備える、請求項1~11のいずれかに記載の加熱式エアロ
ゾル発生物品。

30

【請求項13】

エアロゾル発生システムであって、
発熱体を備えるエアロゾル発生装置と、
請求項1~12のいずれかに記載の加熱式エアロゾル発生物品と、を備える、エアロゾ
ル発生システム。

【請求項14】

請求項1~12のいずれか一項に記載の前記加熱式エアロゾル発生物品の前記エアロゾ
ル発生基体の前記均質化した植物材料の前記一つ以上のシートを作製する方法であって、
前記方法が、

40

粒子状植物材料、水、結合剤およびエアロゾル形成体を含む混合物を形成する工程であ
って、前記粒子状植物材料が、前記粒子状植物材料の乾燥重量に基づいて、10重量パー
セント~60重量パーセントのクローブ粒子および40重量パーセント~90重量パー
セントのたばこ粒子を含有する、形成する工程と、

前記粒子状植物材料の前記混合物から前記シートを形成する工程と、
前記シートを乾燥させる工程と、を含む、方法。

50